



地域と一体になって東三河の振興を図ります!

4月からいよいよ「東三河県庁」がスタートします。「東三河県庁」では、地元市町村、大学、産業界などと連携し、東三河の将来ビジョンを初めて策定します。また、観光や新産業など、毎年度、重点テーマを決め、主要プロジェクトの推進プランを策定し、東三河の振興を地域と一体になって推進します。

東三河のさまざまな課題へ迅速に対応するとともに、県境を越えた三遠南信地域との連携を進めるなど、東三河の発展を今後の愛知県全体のさらなる飛躍につなげていけるよう、全力で取り組んでまいります。

愛知県知事 大村秀章

広報 あいち

**愛知県の
広報紙
No.968**
毎月第1日曜日
掲載

県のテレビ番組(3月)		県のラジオ番組(3月)	
東海【SK8-48のまいテレ1】	毎週土曜日 17:30~19:30	CBC【あいち朝日ポト】	毎月第2、4日曜日 11:25~11:55
再放送	毎週日曜日 5:55~6:00	FM AICHI【あいちFM】	毎月第1、3、5日曜日 10:35~10:50
中京【クック!あいち】	毎週月曜日 21:54~22:00	FM AICHI【AICHI SATURDAY TOPICS】	毎月第1、3、5日曜日 18:16~18:31
再放送	毎週土曜日 5:25~5:30	ZFM-FM【あいちFM】	毎月第1、3、5日曜日 7:23~7:25
※テレビ番組、ラジオ番組の放送時刻は、番組編成により変更になる場合があります。		※インターネット配信局 http://www.doga.pref.aichi.jp/	
※ホームページ http://www.pref.aichi.jp/		※A原Webマガジン http://www.pref.aichi.jp/koho/magazine/	

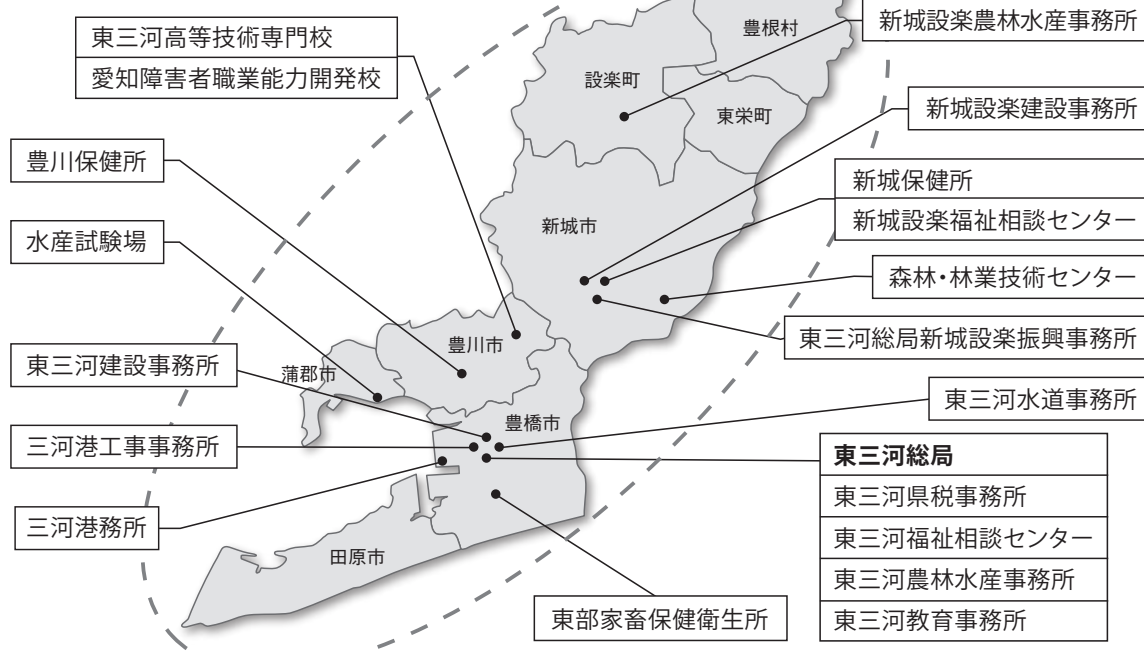
4月1日スタート! 『東三河県庁』

みんなが明日の東三河をつくれます。



東三河地域の総力を結集します。

- ◎「東三河県庁」の核となる行政機関として、東三河県民事務所と新城設楽山村振興事務所を一元化し、新たに『東三河総局』を設置します。
- ◎新城設楽地域における地域振興を幅広く推進するための総合窓口として、東三河総局に『新城設楽振興事務所』を置きます。
- ◎東三河総局に、分野横断的な政策立案と総合調整の機能を備えた『企画調整部門』を設け、地域と一体になって『東三河振興ビジョン』を策定・推進します。
- ◎ビジョンの策定・推進にあたっては、地元の意向を反映するため、市町村や民間組織など地域の皆様方と協議を行う場を設けます。
- ◎林業、港湾、山村振興など本庁機能の一部や許認可権限等を移譲し、現場機能の強化、県民サービスの向上に努めます。



「東三河県庁」は、担当副知事の下、東三河総局を核として、東三河地域の県機関が一体となって東三河振興に取り組むネットワーク型の推進体制です。

この内容に関するお問合せは、総務部 総務課 ☎052(954)6027(ダイヤルイン)まで

お知らせ

自動車の譲渡・廃車などの手続きはお早めに

自動車税は、毎年4月1日現在の所有者(先主)が所有権を留保している自動車については、買主である使用者)に課税されます。また、3月に自動車を売却(下取りに出すなど)廃車しても、移転登録や抹消登録などを3月中にしていたら、納税義務が発生してしまいます。

所有している自動車を売却(下取りに出すなど)したとき、廃車したとき、住所を変更したときには、必ず運輸支局で必要な手続きを行ってください。

問合せ=税務課 ☎052(954)6052

ITS親子見学会の参加者募集

最新のITS(高度道路交通システム)を楽しくながら学べる「ITS親子見学会」にぜひご参加ください。

日時=3月27日(金)、3月28日(土)いずれも9時30分~16時30分(愛知県自治センター集合解散)

見学会=ネックスプラザ(名古屋高速道路広報資料センター)(名古屋北区)、デンソーギャラリー(刈谷市)、豊田交通安全学習センター(豊田市)

参加対象=小学校5年生から中学校3年生までの児童・生徒及びその保護者

参加無料(昼食代は各自負担)

定員=各40名(計80名、応募者多数の場合は抽選)

申込み・問合せ=3月21日(日)17時までに、参加親子の住所、氏名(ふりがな)、年齢、児童・生徒の学年、電話番号、参加希望日を明記の上、FAX、Eメール又ははがきで、「ITS親子見学会事務局」へ(〒461-0005名古屋市中区東区1-13-3N HKプラネット中部内、FAX:052(952)7370、Eメールアドレス:its@nhk-pn.jp、☎052(952)7381)

外来受診における高額療養費の現物給付化が始まります

平成24年4月1日から「限度額適用認定証」や「高齢受給者証」、「後期高齢者医療被保険者証」等を提示すれば、高額な外来診療を受けたときに、医療機関等のひと月窓口負担が自己負担限度額以上になっても、限度額を超える分を窓口で支払う必要がなくなります。

70歳未満の方と70歳以上の非課税世帯の方は、事前に医療保険者から「限度額適用認定証」等の交付を受ける必要がありますので、詳しくはご加入されている健康保険組合、全国健康保険協会、市町村(国民健康保険、後期高齢者医療制度)、国保組合、共済組合までご相談ください。

マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2012の開催

ロンドンオリンピックの代表選手最終選考競技会を兼ねて1万5千人の女性ランナーが参加する「名古屋ウイメンズマラソン2012」と、「名古屋シマラン2012」の二大マラソンが一つになり、国内最大級のランニングの祭典として同時開催されます。

3月11日には、コース及びコース周辺の道路で交通規制が実施されるため、交通渋滞等が予想されます。交通規制の詳細は、ホームページをご参照ください。

期日=3月9日(金)~3月11日(日)

ホームページ=http://marathon-festival.com/

問合せ=実行委員会事務局 ☎052(950)2171

「リニモ海賊団の宝さがし」開催中

リニモに乗って沿線施設に隠された謎解きにチャレンジ!「ゴールされた方先着1万名様に「リニモ海賊団」オリジナルハンカチをプレゼントします。

期間=3月29日(木)まで(3月5日(日)、12日(日)、19日(土)、26日(土)は休み)

スタート受付=リニモが丘駅、八草駅改札付近 10時~14時

「産業空洞化対策減税基金」について

基金を原資として、企業立地、研究開発、実証実験を支援します

県では、喫緊の課題である産業空洞化に対応するため、新年度から、法人県民税減税を代替する措置として、毎年度、その10%に相当する50億円程度を「産業空洞化対策減税基金」に積み立て、これを原資に、企業立地、研究開発、実証実験を支援します。この補助制度創設に係る関連法案を2月定例会議に提案しました。

企業立地の支援=高度先端分野における大規模な投資案件、中小規模の新規立地及び県内企業の再投資に対する支援

研究開発・実証実験の支援=高付加価値のモノづくりを支える研究開発及び実証実験に対する支援

ホームページ=http://www.pref.aichi.jp/sanro/taxreductionfund/

問合せ=(企業立地に関すること)産業立地推進課 ☎052(954)6372、(研究開発に関すること)地域産業課 ☎052(954)6340、(実証実験に関すること)新産業課 ☎052(954)6355

就職支援インフォメーション

「平成24年度大学生等会社説明会」の参加企業を募集します

県では、平成25年3月卒業予定の大学生等の就職機会の拡大を図るとともに、採用意欲のある県内企業の人材確保を支援するため、「平成24年度大学生等会社説明会」を開催します。つきましては、参加企業100社を募集しますので、新卒者等の採用をお考えの企業の皆様は、是非ご応募ください。

日時=5月11日(金)11時~17時

会場=愛知県産業労働センター(名古屋市中村区16)6階展示場

参加料=60,000円

募集企業数=100社(申込多数の場合は抽選)

申込み・問合せ=3月9日(金)までに、就業促進課HP(http://www.pref.aichi.jp/000048091.html)で申込書ダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXで就業促進課へ 就業促進課 ☎052(954)6366、FAX 052(954)6927

心の悩み相談「どうしたの?」その一声から始めよう

身近な人のいふことも違う言葉や態度、それは「うつ病」のサインかもしれません。「眠れていない」「体重が急に減ってきた」「何にも興味を示さない」「笑顔がなくなった」「お酒の量が増えた」などの状態が2週間以上続いているようなら、一声かけてください。

そして早めに専門の相談窓口へつなぐことが大切です。一人で悩まず、まずはご相談ください。

相談窓口=あいちこころほっとライン365 ☎052(951)2881

その他、最寄りの保健所でもご相談をお受けしています。

県内の各種相談窓口=一覧はこちらから

あいち相談窓口ナビ

右記のQRコードからも、アクセスできます。(機種によっては閲覧できない場合がございます。)

問合せ=こころの健康推進室 ☎052(954)6621

森と緑の環境保全活動や環境学習を支援します

NPO・ボランティア団体等が行う環境保全活動や環境学習に対して「あいち森と緑づくり税」を活用した補助を実施するにあたり、平成24年度に実施する事業の企画提案を募集します。

募集期間=3月21日(金)まで

応募用紙配布先=各県民事務所環境保全課(ホームページから入手可)

ホームページ=http://www.pref.aichi.jp/000023749.html

問合せ=環境政策課 ☎052(954)6210

愛知県公立学校教員採用選考試験日程のお知らせ

試験日=第一次試験7月21日(日)、第二次試験8月20日(日)21日(月)

受験案内の配布=4月末から教職員課、各県民生活プラザなど(交付は5月22日(日)17時までに(消印有効))

説明会=江南市民文化会館(4月28日)刈谷市総合文化センター(4月30日)いずれも時間は14時30分から

ホームページ=http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/kyosokuin/

問合せ=教育委員会教職員課 ☎052(954)6769・6770

心身の悩み相談「どうしたの?」その一声から始めよう

身近な人のいふことも違う言葉や態度、それは「うつ病」のサインかもしれません。「眠れていない」「体重が急に減ってきた」「何にも興味を示さない」「笑顔がなくなった」「お酒の量が増えた」などの状態が2週間以上続いているようなら、一声かけてください。

そして早めに専門の相談窓口へつなぐことが大切です。一人で悩まず、まずはご相談ください。

相談窓口=あいちこころほっとライン365 ☎052(951)2881

その他、最寄りの保健所でもご相談をお受けしています。

県内の各種相談窓口=一覧はこちらから

あいち相談窓口ナビ

右記のQRコードからも、アクセスできます。(機種によっては閲覧できない場合がございます。)

問合せ=こころの健康推進室 ☎052(954)6621

東日本震災復興支援

「私たち一人ひとりができることを一歩知知県民は被災地の復興を支援します」

災害義援金を3月30日(金)まで受け付けています

愛知県では災害義援金の受付を平成24年3月30日(金)まで行っておりまして、引き続き県民の皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

ホームページ=http://www.pref.aichi.jp/000018120.html

問合せ=出納課 ☎052(954)6648

県民意見募集

県民の皆様からのご意見を募集しています。資料については、問合せ先や近隣の県民生活プラザで閲覧できます。また、県のホームページでもご覧いただけます。http://www.pref.aichi.jp/000008347.html

あいち食の安全・安心推進アクションプランの改訂(案)

意見募集期間=2月29日(水)~3月13日(火)

問合せ=生活衛生課 ☎052(954)6297

節電・省エネのお願い

無理のない範囲で節電にご協力

平日の午前9時から午後9時の間、生活や経済活動に支障を生じない範囲で節電にご協力をお願いします。

省エネ機器の選択をお願いします

LED照明や二重窓などの省エネ機器・設備や、太陽光発電等の導入など、この機会に家電や住まいを見直し、賢く、地球にもやさしい省エネ対策への参加をお願いします。

ホームページ=http://www.pref.aichi.jp/0000041245.html

問合せ=企画課 ☎052(954)6091

＜ご家庭での取組内容の例＞

- エアコンの稼働温度は20℃を目安に
- 照明の長時間つけっぱなしを、こまめにオフ
- 冷蔵庫の設定温度は控えめに

振り込み詐欺多発! 愛知県が狙われている!!

愛知県内では、50代以上の女性を狙ったテレホン詐欺が多発しています。テレホン詐欺の最近の手法と被害防止のポイントはこちらをご覧ください。

「電話番号が変わった」という電話は詐欺かも!

文字をかけたテレホン詐欺では「会社のお金を振り込むに振込先間違えた」とか「今日中に借金を返さなければいけない」とか言って現金の振込を要求する前に「携帯電話が壊れた」「携帯電話の水に濡らしてしまった」「携帯電話を失った」とか言って電話番号が変わったという連絡がきます。

電話番号が変わったと言われても、一度それまでの電話番号や、若しくは自宅の電話にかけて事実をよく確認しましょう!

特に電話でお金の話を聞いた時は、家族にしかかわからないことを質問して本人がどうかを確認しましょう!

「電話番号が変わった」「風邪をひいて声がかおしい」「お金をすぐ振り込んで」というキーワードが出たら振り込み詐欺を疑いましょう。

「カード預かれます」という電話は詐欺かも!

「〇〇警察署の△△です。あなた名義のキャッシュカードが短期に盗まれました。至急手続きを要する必要があるため、暗証番号は何番までか、後援銀行協会の職員がいますのでカードをお返しください。などと電話がかかります。その後、自宅を訪れた人物がキャッシュカードを渡しようとATMコーナーで預貯金を引き出されています。

警察署などからキャッシュカードの暗証番号を聞くことは絶対にありません。また、自宅を訪問してキャッシュカードを預かることもありません。

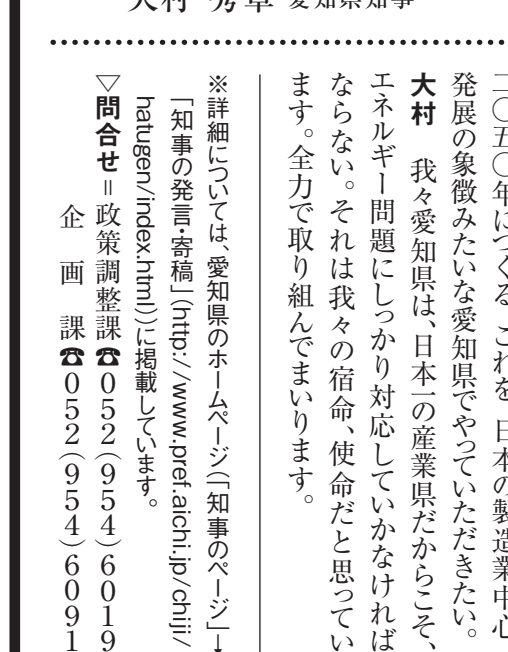
ホームページに女性名で掲載されている方は特に注意が必要です。削除することも被害防止のポイントです。

愛知県警察本部 ☎052(951)1611又は#9110



「エネルギーへの対応は愛知の使命」

大村 今の生活も産業活動もエネルギー抜きでは話れません。小宮山、その時の難は、省エネと新エネルギーのポイントは「効率的にエネルギーを消費して、エネルギー消費を減らす。新しいエネルギーを上げていくこと」ということ。自給率70%の国を2050年につくることが、日本の製造業中心、発展の象徴みたいな愛知県でついています。大村 我々愛知は、日本の産業界だからエネルギー問題にしっかり対応しなくてはならない。それは我々の宿命、使命だと思っています。全力で取り組んでまいります。



太陽光発電や小水力発電を推進

小宮山 まず、どういった取組をして、ただ、同時に新エネルギーをやるという事です。2世紀前半にエネルギー供給のこの規模までなっている自然エネルギーは、太陽光、風力、バイオマス、地熱、水力の5つです。この5つの自然エネルギーをどうやるかですが、県施設などやはり太陽電池や付帯工事の価格が非常に高い。太陽電池のパネル本体や付帯工事の価格はかなり下がって、太陽電池の普及が非常に進んでいます。今、県施設の設置数は約6万、8000基です。平成20、21年間で設置数を4万7000基にしようと思っています。それと、田原市で日本のメガソーラーの計画が進んでいます。

また、農業用水を使った小水力発電も考えています。環境省の調査では、愛知県は農業用水の密度が非常に高く、以前から2005年までに小宮山 私、私は導入から2005年までに自給率を7割に上げたことを主張しています。省エネ率を7割に上げたこと、自給率70%の国を2050年につくることが、日本の製造業中心、発展の象徴みたいな愛知県でついています。大村 我々愛知は、日本の産業界だからエネルギー問題にしっかり対応しなくてはならない。それは我々の宿命、使命だと思っています。全力で取り組んでまいります。

がまんの省エネからスマート省エネへ

昨年の東日本大震災、福島原発の事故を契機、日本のエネルギー政策は見直しが求められています。その地域エネルギーを育てる状況も、浜岡原発の停止により変化した。愛知県では、新たに「省エネ・新エネルギー・研究開発」を二本柱とするエネルギー政策を展開。去る2月10日、今後のエネルギー政策について、大村秀章知事と株式会社三菱総合研究所の小宮山宏理事長、東京大学総長顧問が、愛知県公館で対談を行いました。

大村 今、国民の皆様の関心が、電力エネルギーに向いていると思います。今後は電力エネルギー政策の方向性を全般について、先生のお考えをお聞かせください。

小宮山 エネルギー政策が一番重要なのは、まず省エネです。省エネの場は、効率化。二年前の冷房減を買い替えるなど電力消費量は五分の二で済むのが最適になります。それが一番。その次に、必要のないエネルギーを何で供給するか。原子力なのか、火力なのか、自然エネルギーなのかという議論になります。

大村 私も、去年の夏の電力需給の対応では、とにかく電力エネルギーを賢く使うスマートエネに乗り切ろうとしました。

また、省エネは、我が国が率先してエネルギーの普及を応援しよう、去年の秋から年末にかけて、自動車減税の旗振りをやりましたが、その結果、エコカーの普及が伸び、エコカー補助金の実現も進んでいます。また、新年度からは、県独自の自動車補助金でプラグインハイブリッド車を免除しようとする予定で、もう少し取組を強化しようと思っています。

小宮山 省エネで大事なのは、家庭とオフィスと輸送の面で削減することです。スマートエネルギー消費の削減は、この3つです。この3つを優先して、住宅の断熱を高めたり、最新の家電製品や照明に置き替えていく。これが日本の産業を活性化させていく。住宅の断熱化は、大きな効果があります。国も法改正で義務化を始めています。国が急がれます。

大村 エコカーですが、日本の車が売れば省エネが進みますが、世界のためには是非、非排張つていただきたい。

大村 日本のエコカー技術は世界トップだと思います。省エネは、地元が後押しして世界へ普及させていきたいと思います。

大村 我々愛知は、日本の産業界だからエネルギー問題にしっかり対応しなくてはならない。それは我々の宿命、使命だと思っています。全力で取り組んでまいります。